

第4学年4組 算数科学習指導案

1 単元 広さを表そう

2 目標

- 面積の単位や、長方形や正方形の面積が公式を使って求められることを理解し、求積公式を使っているいろいろな図形の面積を求めることができるようにする。
- 面積の単位や図形を構成する要素に着目し、図形の面積の求め方や面積と長さの関係を考えることができるようにする。
- 学習内容や求積の過程を振り返って、自分の考えを付加・修正・強化したり、友達と交流したりしながら自分の学びを調整することができるようにする。

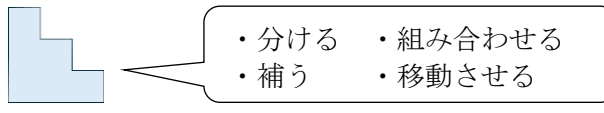
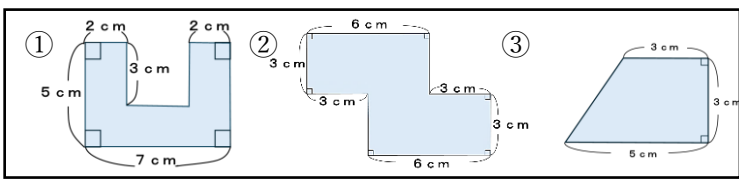
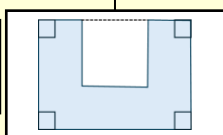
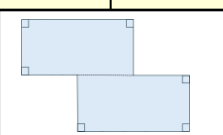
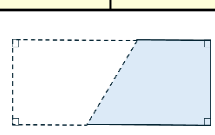
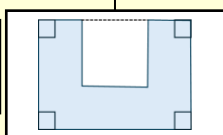
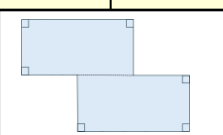
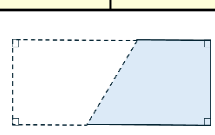
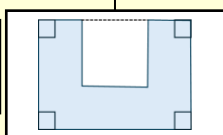
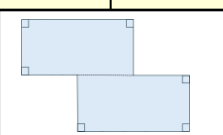
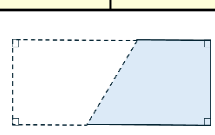
3 単元計画（14時間）

段階	配時	学習活動	手立て
見 通 す	1/14	1 まわりの長さが同じ図形の広さ比べをする。 ○ まわりの長さが同じ花壇の広さを比べる。	○ まわりの長さが同じで、広さの異なる図形を比べることによって、面積の概念を理解できるようにする。
	2/14	2 単位のいくつ分の考えを使って、広さを比べる。 ○ じんとりゲームをして、広さを比べる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">単元のめあて：複雑な形の図形も広さを比べることができるようになろう。</div>	
	3/14	3 面積の意味や面積の単位を知る。 ○ 長方形と正方形の広さ比べをし、その表し方を考える。	
行 う	4/14	4 長方形と正方形の面積を計算で求める方法を考える。 ○ 面積を計算で求める方法を考え、公式をまとめる。	○ 1cm ² がいくつ分かを数えることによって、辺の長さとの面積の関係に気付き、公式を考えることができるようにする。
	5/14	5 長方形の辺の長さとの面積の関係について考える。 ○ 面積から辺の長さを考える。	
	6/14	6 長方形を組み合わせた形の面積の求め方を考える。 ○ 分割、補完、移動、倍積の考え方をを使って、面積を求める。	○ 内容選択をすることによって、分割、補完、移動、倍積の考え方のよさを実感することができるようにする。(ICT)
	7/14 (本時)	○ いろいろな形の面積の求め方を考える。 ・ 前時と同様の図形を提示し、複合図形の面積の求め方を振り返る。 ・ 3つの図形を提示し、どの面積を求めるのか選択する。 ・ 全体交流をし、長方形や正方形にすることで面積を求められることをおさえる。	
	8/14	7 広い面積の表し方を考える。 ○ 大きな面積を表す単位を知る。	
	9/14	8 m ² とcm ² の単位の間隔を考える。 ○ 1m ² が何cm ² かを考える。	
	10/14	9 さらに広い面積の表し方を考える。 ○ 市町村や都道府県などのさらに広い面積の表し方を知る。	
	11/14	10 大きな面積の分かりやすい表し方を知る。 ○ aやhaなど元になる正方形の1辺の長さを変えたいろいろな単位があることを知る。	
	12/14	11 面積の単位とその仕組みを調べる。 ○ 長さの単位との違いを話し合い、まとめる。	
	振 り 返 る	13/14	
14/14		13 振り返り ○ 確かめの問題に取り組む。	

4 主眼

複合図形を選び、分ける、補う、組み合わせる、移動させることで長方形や正方形の形を作り、複合図形の面積を求めることができるようにする。

5 本時過程 **自己選択・自己決定の場（つなぎタイム）**

段階	学習活動・予想される児童の反応	手立て（○）と評価（◇）	配時																								
導入	<p>1 複合図形を基に、前時の学習を振り返る。</p> <p>○ 提示された複合図形から、面積の求め方を話し合う。</p>  <p>○ 3つの図形から、本時学習のめあてをつかむ。</p>  <p>図形の面積を工夫して求めよう。</p>	<p>○ 自らの課題に合わせて学習内容を選んだり決めたりできるように、前時での振り返りを想起させる。</p>	5																								
展開	<p>2 複合図形の面積を求める。</p> <p>○ 根拠を基に、どの図形の面積を求めるのか選択する。</p> <p>【内容選択】</p> <table border="1" data-bbox="215 940 981 1489"> <tr> <td>根拠</td> <td>大きな長方形を作ると、簡単に求められそうだ。</td> <td>長方形二つに分けられそう。</td> <td>同じ形を組み合わせるとよさそう。</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>分ける</td> <td>補う</td> <td>組み合わせる</td> </tr> <tr> <td></td> <td> $3 \times 6 = 18$ $18 \times 2 = 36$ 答え 36 cm^2 </td> <td> $5 \times 7 = 35$ $3 \times 3 = 9$ $35 - 9 = 26$ 答え 26 cm^2 </td> <td> $3 \times 8 = 24$ $24 \div 2 = 12$ 答え 12 cm^2 </td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>移動させる</td> </tr> <tr> <td></td> <td> $6 \times 6 = 36$ 答え 36 cm^2 </td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>【個別と協働の一体的充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> 個別で考えたことを同じ図形を選んだ友達と話し、自身の考えを付加・修正・強化する。 同じ図形を選んだ友達と解決方法を交流し、それを基に問題を解決する。 	根拠	大きな長方形を作ると、簡単に求められそうだ。	長方形二つに分けられそう。	同じ形を組み合わせるとよさそう。	内容					分ける	補う	組み合わせる		$3 \times 6 = 18$ $18 \times 2 = 36$ 答え 36 cm^2	$5 \times 7 = 35$ $3 \times 3 = 9$ $35 - 9 = 26$ 答え 26 cm^2	$3 \times 8 = 24$ $24 \div 2 = 12$ 答え 12 cm^2				移動させる		$6 \times 6 = 36$ 答え 36 cm^2			<p>○ 選んだ図形に書き込みながら考えたり、それを基に交流したりすることができるように、図形を用意する。</p> <p>○ 誰がどの問題を選んだのか分かるように、画面上に解いている問題を映し出す。(ICT)</p> <p>◇ 根拠を基に図形を選び、長方形や正方形を作って、面積を求めようとしている。【思・判・表】</p>	25
根拠	大きな長方形を作ると、簡単に求められそうだ。	長方形二つに分けられそう。	同じ形を組み合わせるとよさそう。																								
内容																											
	分ける	補う	組み合わせる																								
	$3 \times 6 = 18$ $18 \times 2 = 36$ 答え 36 cm^2	$5 \times 7 = 35$ $3 \times 3 = 9$ $35 - 9 = 26$ 答え 26 cm^2	$3 \times 8 = 24$ $24 \div 2 = 12$ 答え 12 cm^2																								
			移動させる																								
	$6 \times 6 = 36$ 答え 36 cm^2																										
	<p>3 面積の求め方を全体で交流する。</p> <p>○ 図形をどのように分けたり、補ったりして求めたのか交流し、面積の求め方の見方、考え方を広げる。</p> <p>長方形や正方形の形を作れば、面積を求めることができる。</p>	<p>○ どの図形も、正方形や長方形に変形すれば、面積が求められることに気付けるように、全体交流をする。</p>	5																								
終末	<p>4 学習を振り返り、自分の学びを評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 分ける方法しか思いつかなかったけれど、同じ図形を選んだ友達と交流したことで、補う方法の方が簡単だと気付くことができた。 	<p>○ 自分の学びについて評価することができるように、振り返りの視点を示し、振り返りを書く場を設定する。</p>	5																								